

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県 仙台市

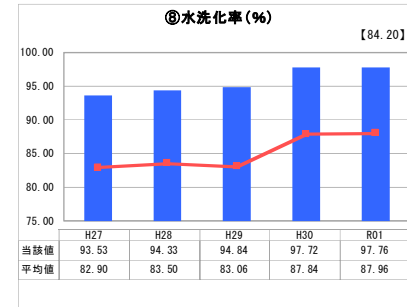
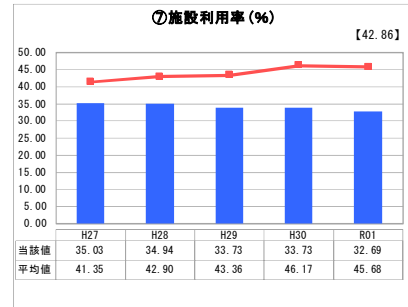
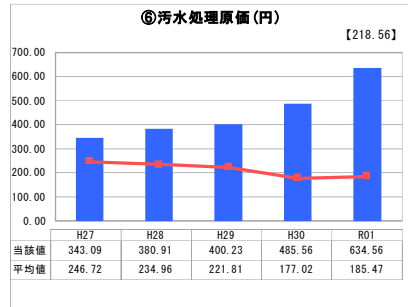
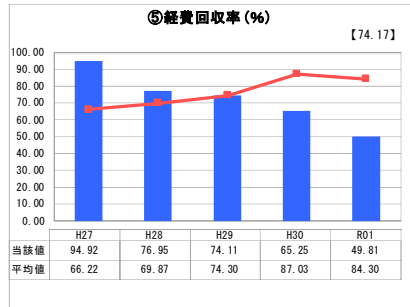
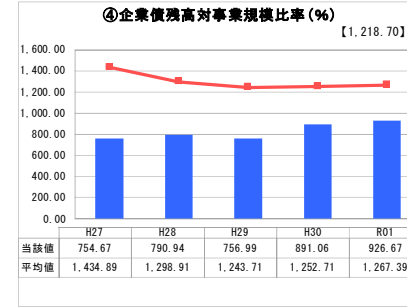
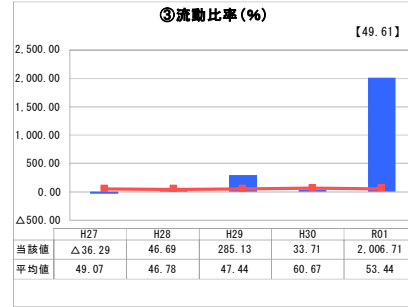
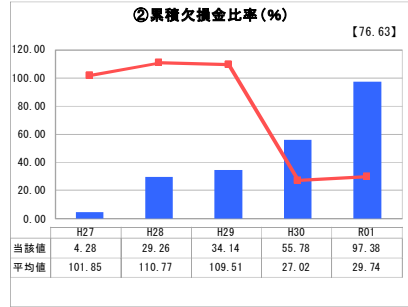
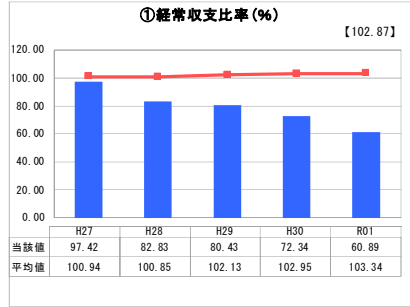
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり重産料金(円)
-	56.94	0.20	89.14	1,917

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,064,060	786.35	1,353.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,146	1.06	2,024.53

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、市街化区域外における事業であるため、対象地域の人口密度が低く、維持管理や設備投資などの費用を使用者収入で回収することが困難な状況となっています。

そのため、①経常収支比率や⑤経費回収率は100%を下回る値で推移しております。

ただし、過去に高金利で借り入れた企業債の償還が順次進むため、支払利息の減少により費用が減少し、今後の経営状況の改善が一定程度見込まれます。

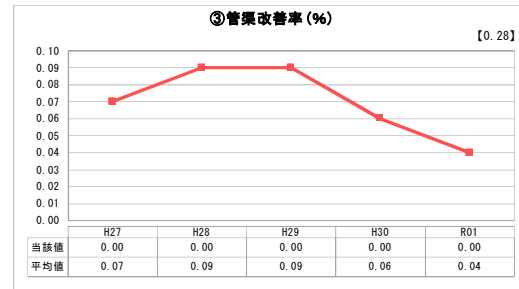
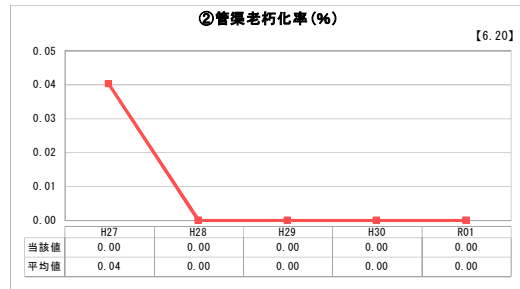
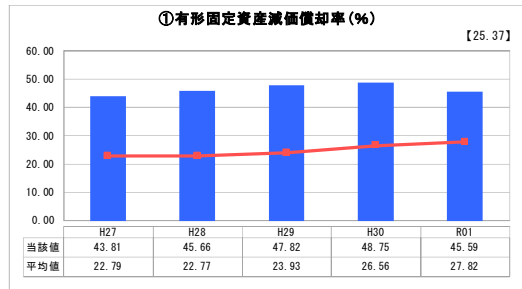
この他、⑦施設利用率は他団体と比較して低い値で推移しており、より適正な施設規模について検討する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を過ぎた管渠がないことから、②管渠老朽化率及び③管渠改善率については0で推移しています。

ただし、類似団体と比較して①有形固定資産減価償却率が高くなっており、管渠以外の施設を中心に老朽化が進んでいる状況にあります。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本事業の性質上、赤字経営となりやすい傾向にありますが、公共下水道を中心とした下水道事業全体で経営を行っているため、経営に問題は生じていません。

しかしながら、今後、施設の更新時期の到来による更新費用の増大が予測されるため、より適切な施設規模や更新時期について検討し、将来的なコストの抑制を図るなど、経営状況の改善に努める必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。